

平成19年度千葉県国民保護共同実動訓練の概要

平成19年11月21日

内閣官房

千葉県

千葉市

平成19年度千葉県国民保護共同実動訓練の概要

目 次

訓練の概要	3
1 目的	5
2 実施日時	5
3 想定	5
4 主な訓練実施場所	5
5 主な訓練項目	7
6 参加機関	7
7 その他	8
訓練の流れ(シナリオ)	9
主な訓練の内容	13
1 爆破テロに伴う救助、救護及び搬送	15
2 化学テロに伴う検知・救助・除染、武装グループ鎮圧及び救出	19
3 住民避難、救援	22
4 緊急対処事態対策本部等の設置運営	25

訓練の概要

MEMO

1 目的

国民保護法に基づき、国、地元地方公共団体、その他関係機関及び地域住民が一体となった共同の実動訓練を実施し、関係機関の機能確認及び関係機関の相互の連携強化を図るとともに、国民の保護のための措置に対する国民の理解の促進を図る。

2 実施日時

平成19年11月21日（水）11：00～14：30

3 想定

千葉市内の鉄道駅等において連続爆破事案が発生したことにより多数の死傷者が発生。また、東京湾に侵入した不審な貨物船から化学剤が散布されるとともに、さらに大量の散布が示唆される。

4 主な訓練実施場所

(1) 海浜幕張駅及び南口広場（千葉市美浜区ひび野）

- ・ 爆破テロに伴う救助、救護及び搬送

(2) 幕張新都心ヘリポート

- ・ 政府派遣要員の到着
- ・ 負傷者の航空搬送

(3) 千葉港千葉中央埠頭

- ・ 化学テロに伴う検知、救助、除染
- ・ 武装グループの鎮圧、救出

(4) 千葉港周辺（千葉みなと駅西口広場、千葉港湾事務所、みなと公園）

- ・ 住民避難

(5) 千葉市中央コミュニティセンター（千葉市中央区千葉港 2-1）

- ・ 避難住民に対する救援

(6) 千葉県庁（千葉市中央区市場町 1-1）

- ・ 千葉県緊急対処事態対策本部設置運営等
- ・ 合同対策協議会開催

(7) 千葉市役所（千葉市中央区千葉港 1-1）

- ・ 千葉市緊急対処事態対策本部設置運営等

(8) 総理大臣官邸（東京都千代田区永田町 2-3-1）

- ・ 千葉県庁とのTV会議



図1 主な訓練実施場所

(C)ALPS MAPPING K.K.

5 主な訓練項目

- (1) 救助・救護、負傷者搬送等の災害等対処訓練（実動訓練）
- (2) 政府現地派遣要員の輸送訓練（実動訓練）
- (3) 住民避難・救援訓練（実動訓練）
- (4) 武装グループ鎮圧、人質救出訓練（実動訓練）
- (5) 緊急対処事態発生時における千葉県及び千葉市の初動措置（情報収集・報告・各機関との連携）訓練
- (6) 千葉県及び千葉市緊急対処事態対策本部の設置・運営訓練
- (7) 政府現地対策本部の設置・運営訓練
- (8) 政府、千葉県、千葉市及び関係機関による合同対策協議会の運営訓練（官邸とのTV会議を含む。）
- (9) 千葉県緊急事態対策本部から関係機関等への情報伝達訓練

6 参加機関

- (1) 主催者
内閣官房、千葉県、千葉市
- (2) 指定行政機関
警察庁、消防庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁、防衛省
- (3) 指定地方行政機関
関東管区警察局、関東農政局、関東経済産業局、関東地方整備局、関東運輸局、第三管区海上保安本部（本部、千葉海上保安部、横浜海上保安部、羽田航空基地、羽田特殊救難基地）
- (4) 指定公共機関、指定地方公共機関
東日本旅客鉄道株式会社、日本赤十字社千葉県支部
- (5) 警察関係
千葉県警察本部、千葉市警察部、千葉県警察千葉中央警察署、千葉県警察千葉西警察署
- (6) 消防関係
千葉市消防局、千葉市消防団、習志野市消防本部、船橋市消防局、東京消防庁、さいたま市消防局
- (7) 自衛隊関係
陸上自衛隊（東部方面総監部、第1師団、中央即応集団司令部、第1空挺団）、海上自衛隊（横須賀地方総監部）、航空自衛隊（航空総隊、第1補給処）、千葉地方協力本部
- (8) その他関係機関
千葉県救急医療センター、日本DMAT（筑波メディカルセンター病院、川口市立医療センター、国立病院機構災害医療センター、藤沢市民病院）、日本医科大学千葉北総病院、千葉県消防学校

7 その他

- (1) 大規模災害が発生し、または発生するおそれがある事態が発生したときは、当該訓練は中止するものとします。
- (2) 荒天等により訓練の一部を変更することがあります。

訓練の流れ（シナリオ）

MEMO

想定時間	実時間	事案の概要	政府の主な動き	千葉県、千葉市の主な動き
9:00	11:00	・海浜幕張駅、幕張メッセ国際会議場、千葉駅で同時爆破事案発生（警察、消防、自衛隊により救出活動実施） ・千葉港沖合の不審貨物船に千葉海上保安部が立入検査のため乗船しようとした際、不審貨物船内の武装グループが発砲	・官邸対策室設置 ・政府要員派遣決定	・千葉県国民保護等緊急対策本部設置 ・千葉市警戒本部設置
9:30	11:30	・不審貨物船内の武装グループが同時爆破テロに関して犯行声明を出すとともに有毒物質散布の犯行予告		
10:00	12:00	・不審貨物船内の武装グループが大量のサリンを保有していることが判明		・政府派遣要員が千葉県庁到着
10:30	12:30		・緊急対処事態認定、警報発令 ・武装グループの化学剤散布予告を踏まえ、避難措置の指示 ・千葉県庁とTV会議	・千葉県緊急対処事態対策本部設置 ・千葉市緊急対処事態対策本部設置 ・第1回合同対策協議会、官邸とTV会議
11:00	13:00	・不審貨物船からサリンの一部が散布され負傷者発生（警察、消防、自衛隊により救出活動実施）		・政府からの避難措置の指示を受け、住民に避難を指示 ・住民の避難開始（一部の住民に関し実動）
11:30	13:30	・不審貨物船内の人質が海上へ脱出、海上保安庁による救助 ・海上保安庁により、不審貨物船内の武装グループ鎮圧、船内の人質を救出		・第2回合同対策協議会
12:30	14:30			

※ 青字は、想定上の動き（実際の動きはなし）

表1 訓練の流れ（シナリオ）概要



図2 訓練想定

(C)ALPS MAPPING K.K.

主な訓練内容

MEMO

1 爆破テロに伴う救助、救護及び搬送

(1) 場所

海浜幕張駅及び南口広場（千葉市美浜区ひび野）

(2) 時間

11:00～12:00

(3) 概要

爆破テロの発生に伴って発生した多数の死傷者に対する救助及び応急医療活動等の災害対処訓練

- ・ 爆破テロ現場の救助、救護及び搬送
- ・ 警察、消防による警戒区域の設定及び安全確認
- ・ 警察による爆発物の回収
- ・ 警察、消防、自衛隊による被災者の救助
- ・ DMATによる「瓦礫の下の医療」（CSM）の実施
- ・ 医療機関、消防によるトリアージ、応急救護の実施
- ・ 負傷の程度に応じた医療機関への患者搬送（ヘリ、救急車、バス）
- ・ 現地調整所における実動機関の連携
- ・ 上空からのヘリテレ伝送

時刻	訓練シナリオ概要
11:00	事案発生
	千葉県警察が爆発物を回収、現場の安全を確認
	千葉市消防局、トリアージポスト・応急救護所を設置
	日本赤十字社、千葉県救急医療センターDMAT 到着 トリアージ、応急救護を実施
	千葉県内応援消防（船橋市、習志野市）到着
	千葉県、千葉市職員到着、現地調整所を設置
11:20	駅構内の救助開始（実動上の被害者数） （死者4名、重症者13名（内、瓦礫下8）、中等者30名、軽症30名）
	負傷者の搬送を開始（幕張新都心ヘリポート、救急医療センター）
	陸上自衛隊到着、駅構内での救助開始
	緊急消防援助隊到着、駅構内での救助開始
	東京都、埼玉県、神奈川県、茨城県から DMAT 到着 トリアージ、応急救護、CSM の実施
	瓦礫下の被害者を救助
12:00	負傷者の搬送を完了

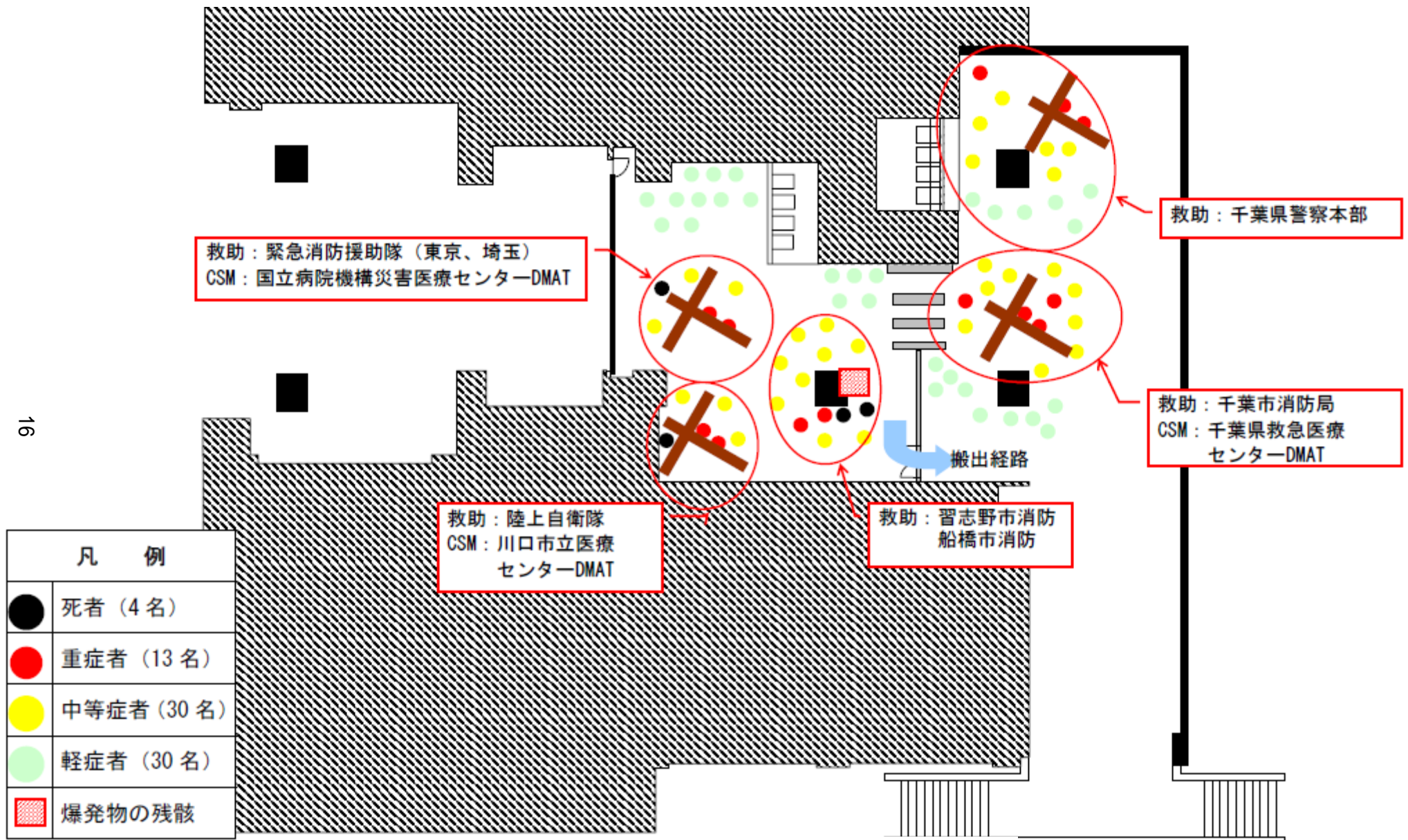


図3 海浜幕張駅構内での被害発生状況と救助活動の役割分担

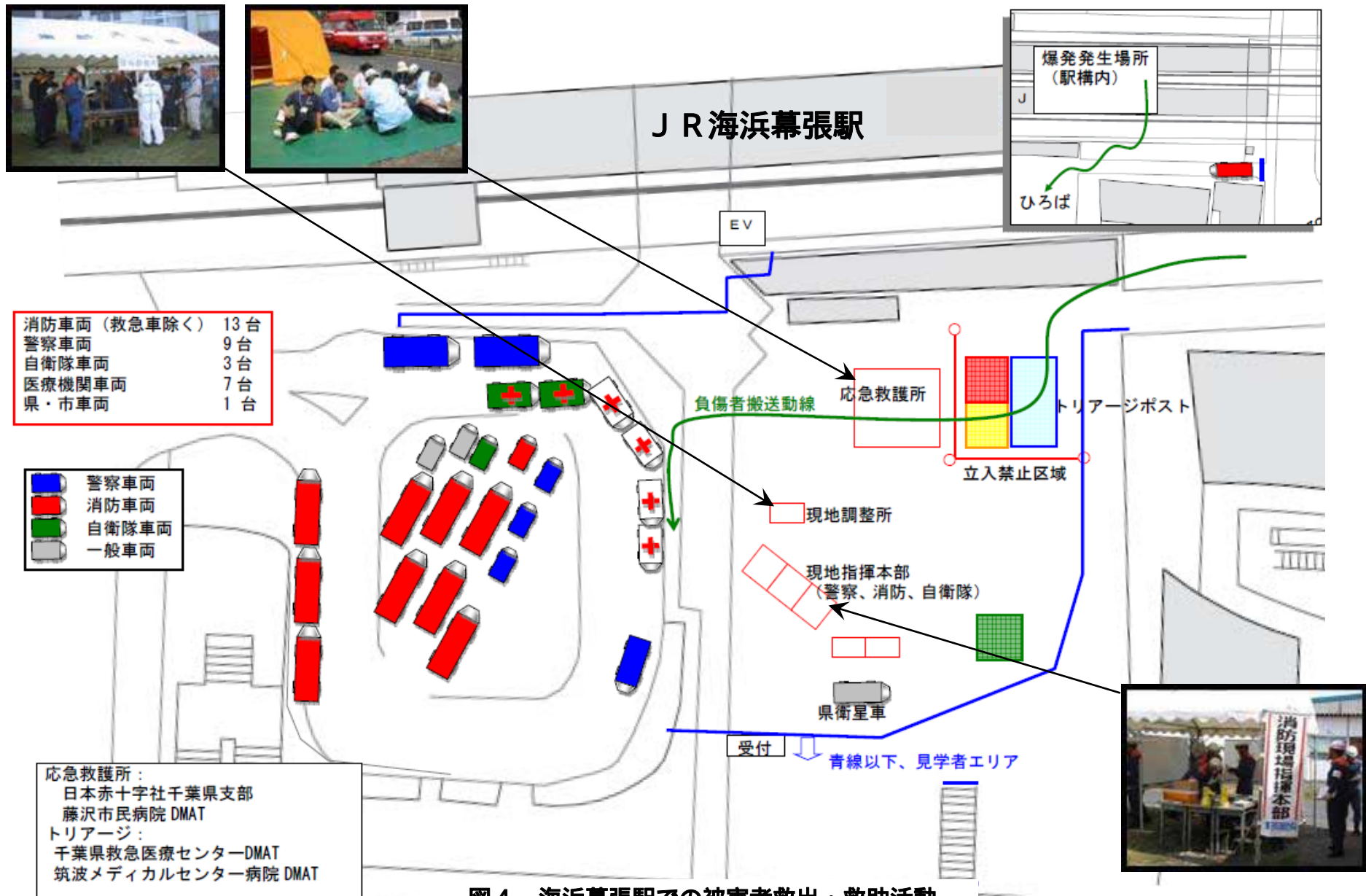


図4 海浜幕張駅での被害者救出・救助活動

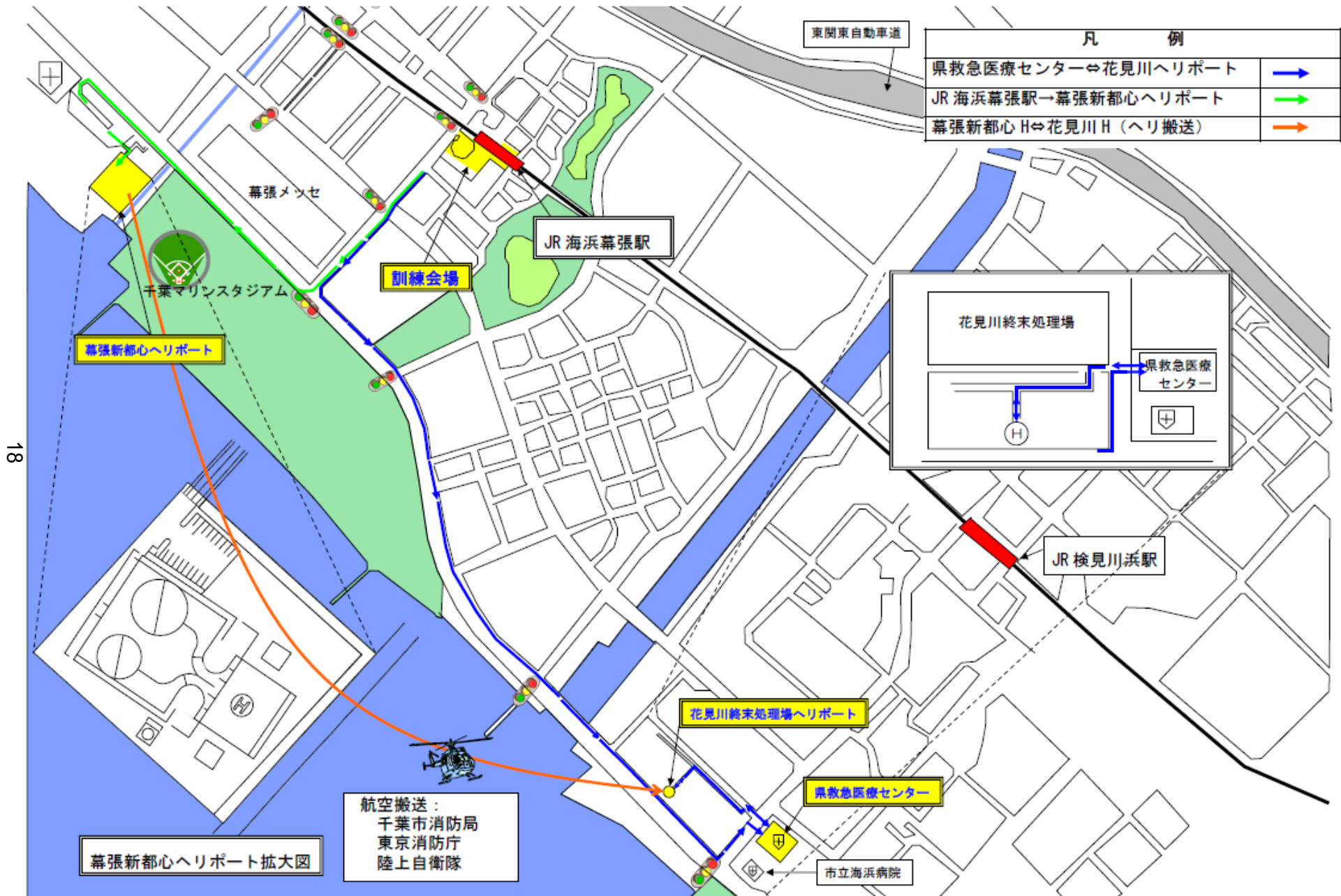


図5 ヘリによる負傷者搬送

2 化学テロに伴う検知・救助・除染、武装グループ鎮圧及び救出

(1) 場所

千葉港千葉中央埠頭
(Iバース)



(C)ALPS MAPPING K.K.

(2) 時間

13:00 ~ 13:55 化学テロ現場における検知・救助・除染

13:55 ~ 14:30 武装グループ鎮圧、人質の救出

(3) 概要

海上から散布されたサリンによる被害者の検知、救助、除染活動及び武装グループの鎮圧

- ・警察、自衛隊は埠頭に散布された化学剤の検知を実施
- ・消防は埠頭に散布された化学剤による被害者の救助、除染及び搬送を実施
- ・自衛隊による埠頭のエリア除染
- ・海上保安庁による人質の吊り上げ救助
- ・海上保安庁による船上の武装グループ鎮圧
- ・船内の人質の救出

時刻	訓練シナリオ概要
13:00	サリンの一部が散布され、埠頭にいた人が負傷（8人）
	警察・消防・自衛隊車両進入、化学剤検知
	消防による除染所の設置
	消防、警察によるゾーニング
	警察による証拠物等の採集
	救助活動、除染及び搬送の実施
13:45	陸上自衛隊によるエリア除染の開始
13:55	海上へ脱出した人質のヘリ救助
	海上保安庁による貨物船への突入開始
	武装グループを鎮圧
14:20	貨物船内の乗組員の救助

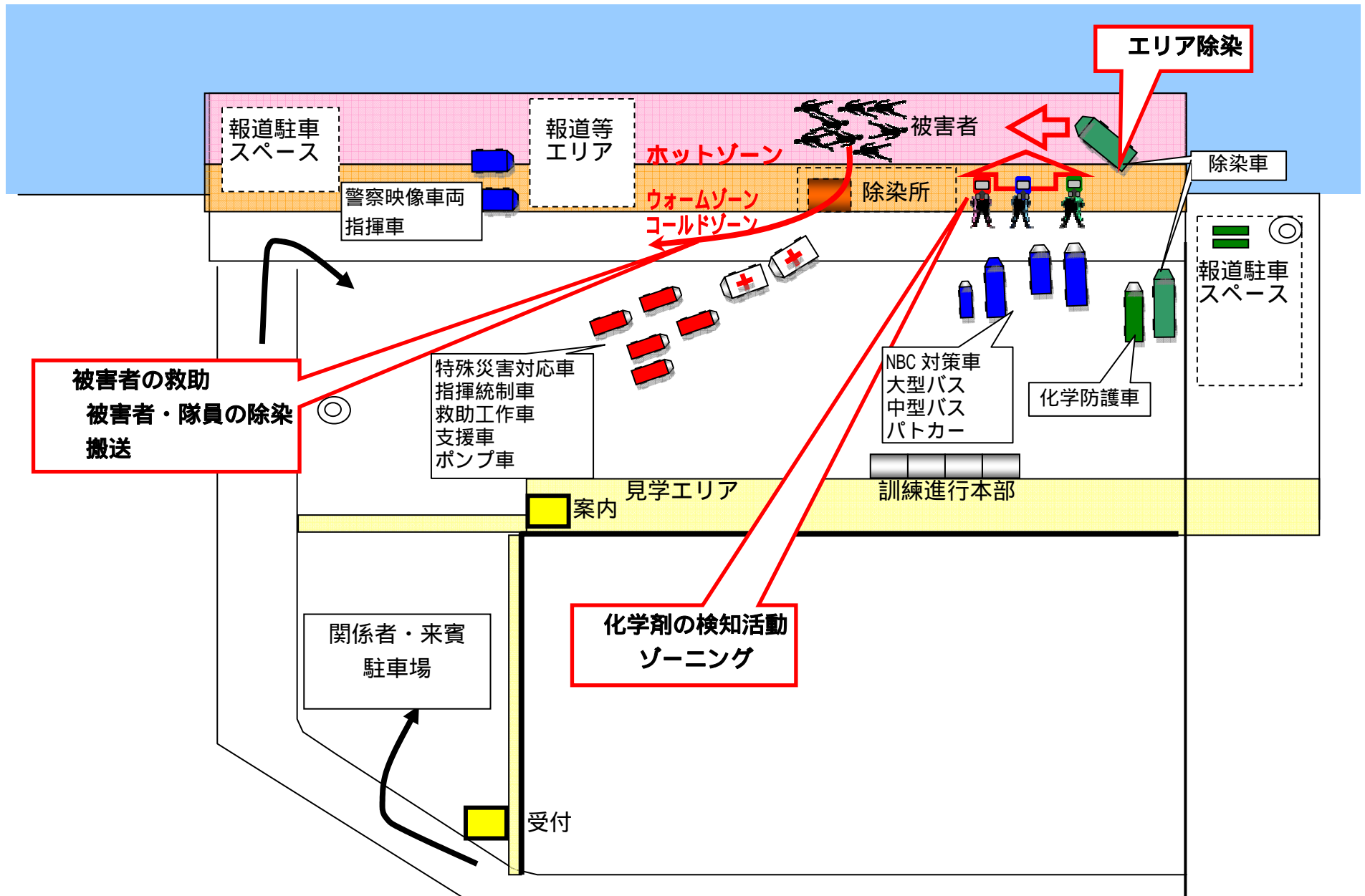


図6 千葉中央埠頭での化学テロ対応活動

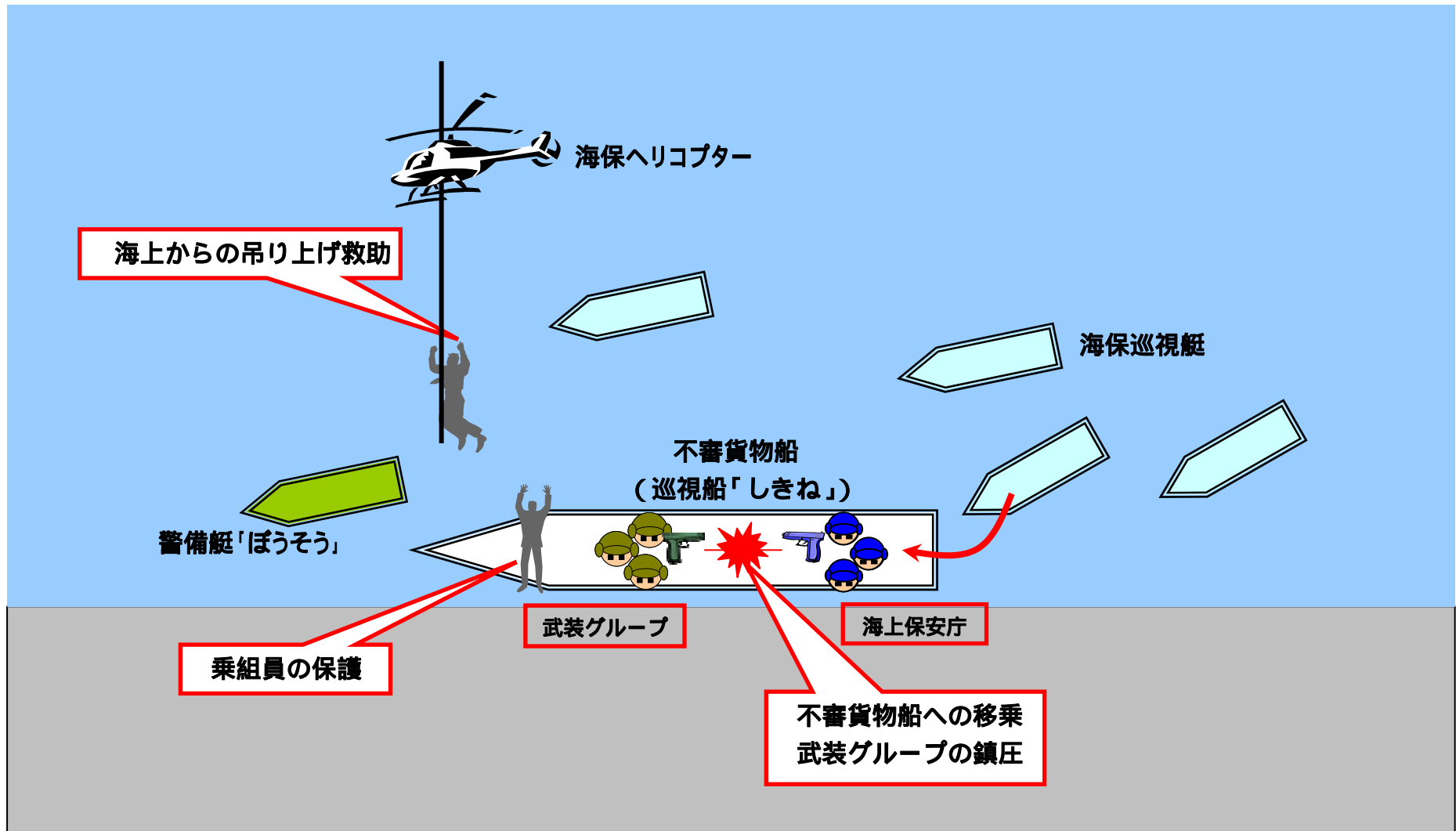


図7 千葉中央埠頭での武装グループ鎮圧活動

3 住民避難、救援

(1) 場所

千葉港周辺

- ・千葉みなと駅西口広場（一次集合場所）
- ・千葉港湾事務所（一次集合場所）
- ・みなと公園（二次集合場所）
- ・千葉中央コミュニティセンター（避難所）



(2) 時間

13:20 ~ 14:30

(3) 概要

武装グループによる海上からのサリン散布予告に伴い、緊急対処保護措置として住民避難及び避難所における救援

- ・千葉市は、事案の発生、警報の内容、避難の指示の内容、避難実施要領の内容を広報車により住民に伝達
- ・千葉市は、警察、消防の協力のもと住民の避難誘導を実施
- ・住民は地区毎に指定された一次集合場所（千葉みなと駅西口広場及び千葉港湾事務所）に集合した後、市職員、消防団等の誘導により二次集合場所であるみなと公園に徒歩で移動し、避難バスに乗車して千葉市中央コミュニティセンター（避難所）に避難
- ・一次集合場所から二次集合場所への移動間、警護措置を実施
- ・千葉市は避難所に集合した住民に対し、救援活動実施

時刻	訓練シナリオ概要	
13:20	避難実施要領の広報、一次集合場所（千葉みなと駅西口、千葉港湾事務所）集合	
	【千葉みなと駅西口集合者】	【千葉港湾事務所集合者】
13:22	一次集合場所を出発	
13:25		一次集合場所を出発
13:32	二次集合場所（みなと公園）到着	
13:37	避難所に向け避難バス出発	
13:45		二次集合場所（みなと公園）到着
13:47	避難所到着	
	救援	
13:50	↓	避難所に向け避難バス出発
14:00		避難所到着
14:30		救援

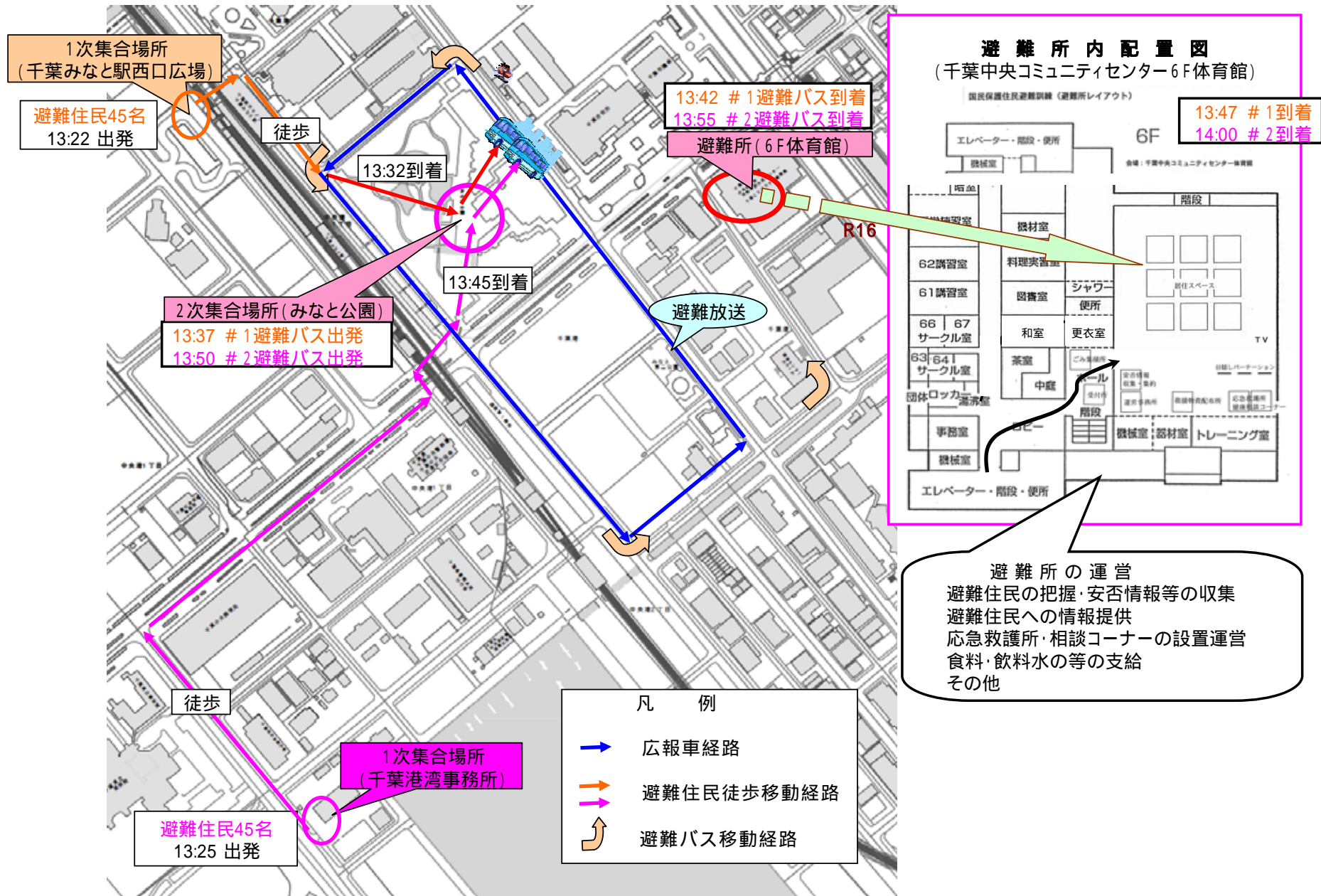


図8 住民避難及び避難所運営活動

4 緊急対処事態対策本部等の設置運営

(1) 場所

- ・千葉県庁
- ・千葉市役所

(2) 時間

11:00～14:30

(緊急対処事態対策本部設置運営 12:30～14:30)

(合同対策協議会、TV会議 12:40～13:20)

(3) 概要

緊急対処事態対策本部等の設置運営訓練(千葉県庁、千葉市役所)

事案発生連絡を受け、初動措置実施のために、千葉県及び千葉市はそれぞれ国民保護等緊急対策本部及び警戒本部を設置。また、政府による緊急対処事態認定後は、それぞれ緊急対処事態対策本部を設置する。

(千葉県)

- ・第一報を受けて、千葉県は県庁内に国民保護等緊急対策本部を設置、千葉市及び関係機関と連携して初動措置を実施。
- ・事態認定後、県庁内に千葉県緊急対処事態対策本部を設置、関係機関と連携して緊急対処保護措置を実施

(千葉市)

- ・第一報を受けて、千葉市は市役所内に警戒本部を設置し、初動措置を実施
- ・事態認定後、市役所内に千葉市緊急対処事態対策本部を設置、関係機関と連携して緊急対処保護措置を実施

合同対策協議会運営訓練(千葉県庁)

政府緊急対処事態現地対策本部、千葉県、千葉市及び関係機関(警察、消防、海保、自衛隊等)による合同対策協議会を開催する。

- ・事態の状況に関する情報共有及び緊急対処保護措置に関する協議等の実施
- ・政府緊急対処事態対策本部(総理大臣官邸)とのTV会議の実施
- ・出席者

(千葉県庁)

内閣官房副長官	大野	松茂	(政府緊急対処事態現地対策本部長)
千葉県知事	堂本	暁子	(千葉県緊急対処事態対策本部長)
千葉市長	鶴岡	啓一	(千葉市緊急対処事態対策本部長)

(総理大臣官邸)

内閣官房長官	町村	信孝
--------	----	----

緊急対処事態現地対策本部等の設置運営訓練については、事前に詳細な訓練シナリオを提示しない、いわゆる「ブラインド式」を一部採り入れて実施します。

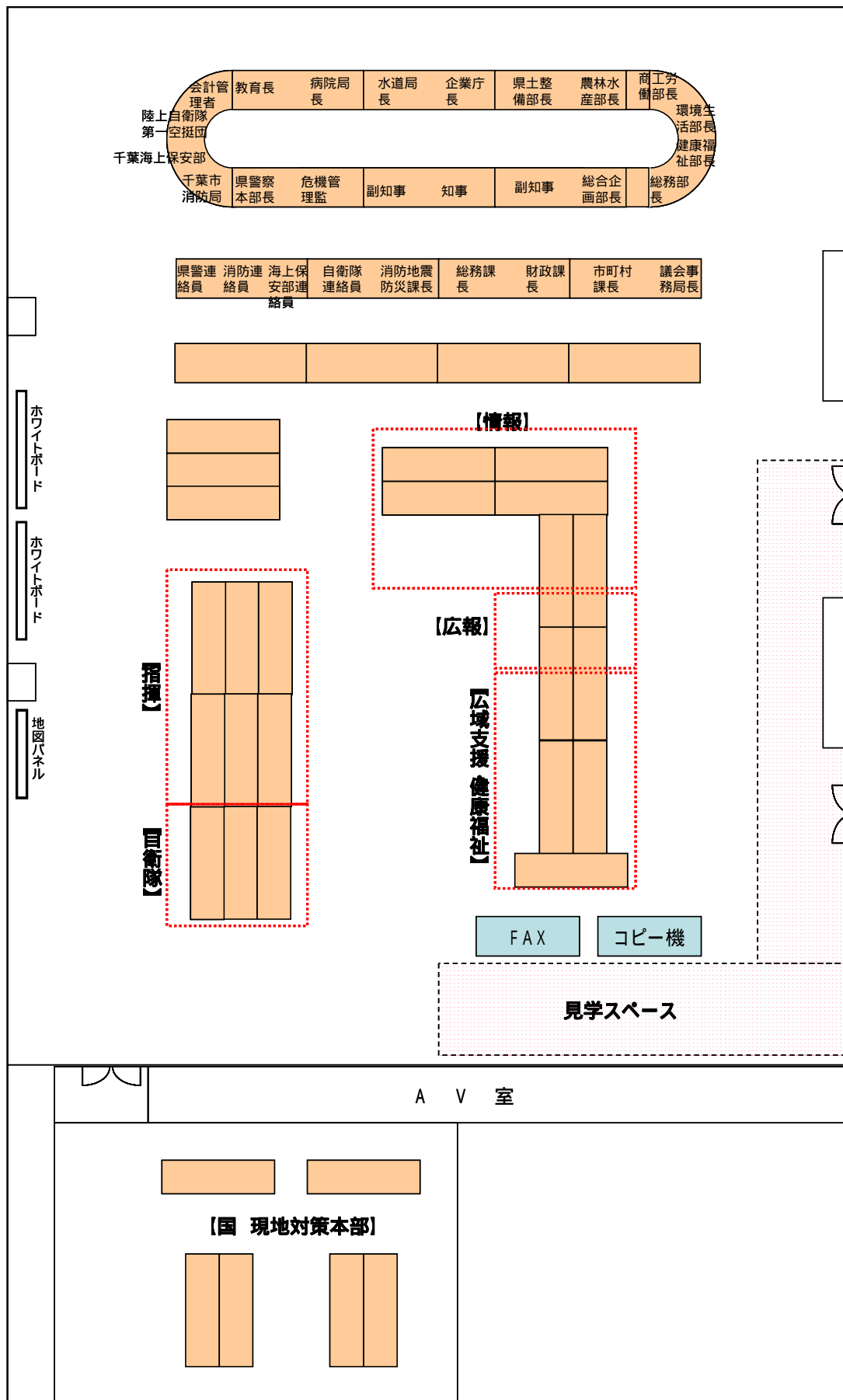


図 9 県対策本部配置図

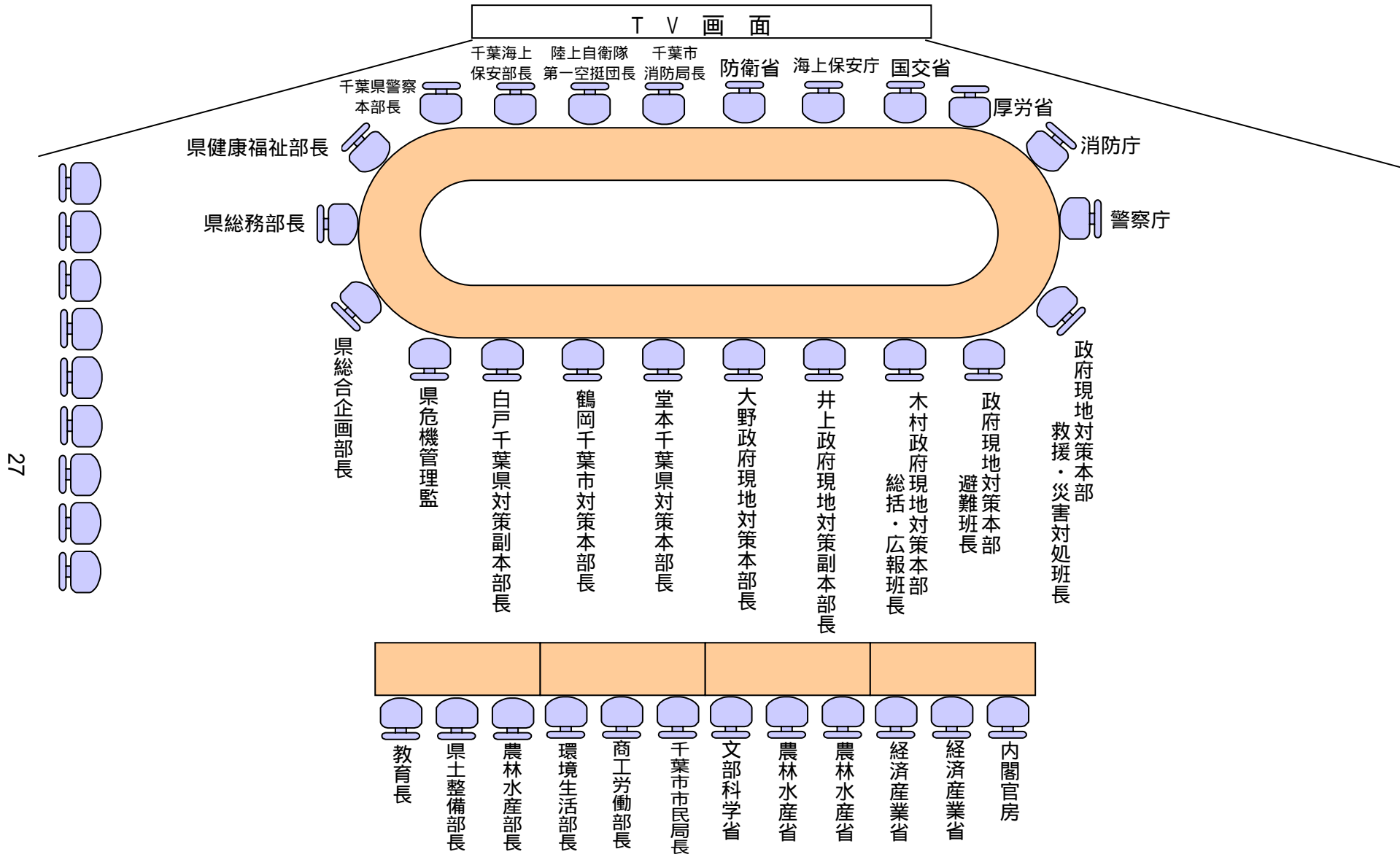


図 1 0 合同対策協議会配置図

武力攻撃やテロなどから身を守るために

知っておこう、備えておこう。

内閣官房

国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/>